



12月の全体練習

■2026年1月の予定表をお送りします。

1月の全体練習は、午後に設定しております。また、選手のナイター練習は体育館となり、練習回数は少なくなります。毎年のことですが、1月～2月は風邪をひきやすく、体調管理が大変です。また、試合などで京都市内への送迎も、早朝には路面凍結などもあり得ます。くれぐれも、ご安全に、冬の期間を乗り越えていただきたいと願っております。年始初打ちは1月4日(日)13:00～の予定です。

■今後の大会について

1月17日(土)～からはMUFGの予選があります。FJTCからは男女7名がエントリーしています。1月31日(土)～からはウインタージュニアがあります。こちらは2名がエントリーしています。春の京都ジュニアは関西ジュニアにつながる重要な大会です。エントリーの〆切は1月25日とい

たします。

同時に全国小学生予選のエントリーもお願いします。

いつものGoogleFormsからエントリーをお願いします。

←GoogleFormsのQR

全小が終われば、次はサマージュニアまで協会の試合はありません。



■インフルエンザ、感染症に注意！！



練習には多めのドリンク(できればスポーツドリンク)タオルをお忘れなく!手洗いとうがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意!冬休みも規則正しい生活を!

■中学校の体育系部活動のこれから

テニスの豆知識

いよいよ中学校教育から部活動が切り離され、学校以外の「地域クラブ」に移行するようです。京都市では今後6年をかけて段階的に移行することが発表されました。部活動の地域移行についてのメリット・デメリットはすでにいろいろな場面で語られており、保護者の皆さんもある程度理解されておられる方存じます。

しかし、いよいよ自分たちの地域で現実的になると、またこれは、違う話になってきます。特に京都市内と府下の市町村では、まったく状況が異なります。特に問題なのは、生徒の少ない地域では、そもそも地域クラブも成立しないということがあります。野球、サッカーのメジャー競技はそれでも何とかなるでしょうが、それ以外のマイナースポーツでは、「活動希望生徒・活動場所・指導者・移動手段・資金」といった、地域クラブが成立する要件が足りません。そういう地域では、結局限られた部活を、教員が運営する。という今の状況が継続され、教育サービスも教員の就労環境も、都市部に比べて劣る中学校が温存される可能性が高いです。日本全国どこに生まれても、ある程度同じ教育を提供するつもりなら、逆に、中学校に部活を残し、そこに専門的な運動指導ができる体育の先生を配置して、季節によっていろんな運動体験を、各中学校で取り組めるようにする方が良いと思います。学校の部活は放課後の「総合運動部」としていろんな競技種目を体験したりトレーニングに充てるのが良いと思います。さらに高度な専門競技の練習を希望する生徒のみが、夜間や土日に、専門競技の地域クラブにおいて活動する方が理にかなっているように思います。



次のエントリーは京都ジュニアです。

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoed.jp

